



TITLE:

彙報

AUTHOR(S):

---

CITATION:

彙報. 經濟論叢 1941, 53(2): 246-248

ISSUE DATE:

1941-08

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/131576>

RIGHT:

會學濟經學大國帝都京

# 經濟論叢

號二第 卷三十五第

月八年六十和昭

## 論叢

勢力經濟學序説……………文學博士 高田 保馬

先秦經濟思想史序説……………經濟學士 穗積 文雄

支那銀行の畸形的推移……………經濟學士 德 永 清 行

## 研究

ナチス勞働保護政策の原理……………經濟學士 中川 與之助

ベシユム景氣理論に於ける貯蓄と投資……………經濟學士 一谷 藤一郎

價格安定政策の資本形成效果……………經濟學士 青 山 秀 夫

獨逸の廣域經濟論……………經濟學士 松 井 清

## 說苑

北支の物價高に就いて……………經濟學士 穗積 文雄

## 附錄

彙報

外國雜誌論題

彙報

經濟學部

○本學部歐文紀要 (Kyoto University Economic Review) 第十六卷第三號は次の論稿を以て七月三十日に刊行せらる。(丸書き發賣定價金壹圓)

Views in the Taxation on Commerce in the Closing Days of Tokugawa Age  
Professor E. Honjo  
Special Currency System of China Professor S. Kojima  
The Reform of the Local Tax System Professor S. Shiomi  
Notes

經濟學會

○六月例会 六月廿四日(火)午後六時より樂友會館に於て開催され次の報告があつた。

回教の共同性

澤崎 堅 造氏

亞細亞大陸は南北に三つに分けられる。その中央が乾燥地帯で、東は滿洲、蒙古から、西は阿剌比亞、埃及、阿弗利加にまで延びてゐる。これが所謂回教國である。従て云はゞ東亞を西歐から分ける空堀の様なものである。回教は阿剌比亞の沙漠から起つた。時は七世紀の初めである。豫言者マホメットがメヂ

ナ(ヤトリフ)に移つた所謂聖遷のときを以てそれとすれば六二二年である。メヂナの市民と郷里メツカのそれとは仇敵の間柄であつたにも不拘、彼によりて血と階級とを越えて、アラ一の神を中心として結ぶことが出来た。兄弟の契約が出来た。メヂナ憲章と云はれるものはその頃の規約である。この中回教の團結力、共同性なるものゝ最初の形態が示されてゐる。その特質の一は、唯一絶対神アラ一の共同體であること、第二は世界人類に對する平和と平等とを目的とすること、第三はそのためには復讐と剣とを重んずること等であることを擧げられた。

ケインズの利子論

高田 教授

梗概略す。

當日の出席者—小島、高田、石川、八木、柴田、中谷、佐波穗積、徳永、白杉、青山、靜田、田杉、出口、堀江、鈴木の諸先生。青盛、有田、大谷、尾上、上村、河野、澤崎、澤村、酒井、辻、松木、三谷、山崎の諸氏。

○會員動靜

集

報

同好會

昭和十六年度豫算

收入ノ部

一二二三、一二〇

内譯

一一、一二〇

收入總高

前年度ヨリ繰越

第五十三卷

二四七

第二號

一一七

彙 報

第五十三卷 二四八 第二號 一一八

二六〇、〇〇〇	入會金
九〇〇、〇〇〇	學生會費
四二、〇〇〇	教官會費
支 出ノ部	
一二一三、一二〇	支出總高
内 譯	
三〇〇、〇〇〇	見學費
二〇〇、〇〇〇	新入生歡迎會費
二〇〇、〇〇〇	學生大會費
二〇〇、〇〇〇	文化費
一〇〇、〇〇〇	豫餞會費
四〇、〇〇〇	交渉費
三〇、〇〇〇	消耗品費
三〇、〇〇〇	事務員慰勞費
一五、〇〇〇	記念品費
二五、〇〇〇	委員會費
七三、一二〇	豫備費

一、新入會員歡迎會

五月十日(土)午後六時より樂友會館に於て開催

會長並に諸先生の歡迎の辭に引續き種々歡談記念撮影後盛會裡に午後十時頃閉會。

八木、堀江、穂積、青山、野田、松井、出口、堀江、鈴木の諸先生及會員九十名出席。

一、神戸見學 五月三十一日(土)

午前、神戸税關にて「税關の機構とその社會的作用」と題する講演を聞き、次で川西倉庫に赴き冷凍魚等に關する説明を聞き、午後は大阪商船ブラジル丸を見學す。參加者堀江先生以下九〇名。

一、大阪見學 六月十三日(金)

午前、大阪株式取引所にて前場大引を見學し、取引所の機構等に關する講演を聞き、午後、大阪中央放送局を見學す、擬音の説明面白し。參加者六〇名。

一、山科刑務所見學 六月二十六日(木)

午後一時、京津三條に集合し電車にて山科へ赴き、刑務所に於て監房、作業場等を見學す。參加者出口先生以下五〇名。